



Since 1873

# やよい

弥富市立弥生小学校

教育目標（こんな子になろう）

- ① やさしい子
- ② よく考える子
- ③ いのちを大切にする子

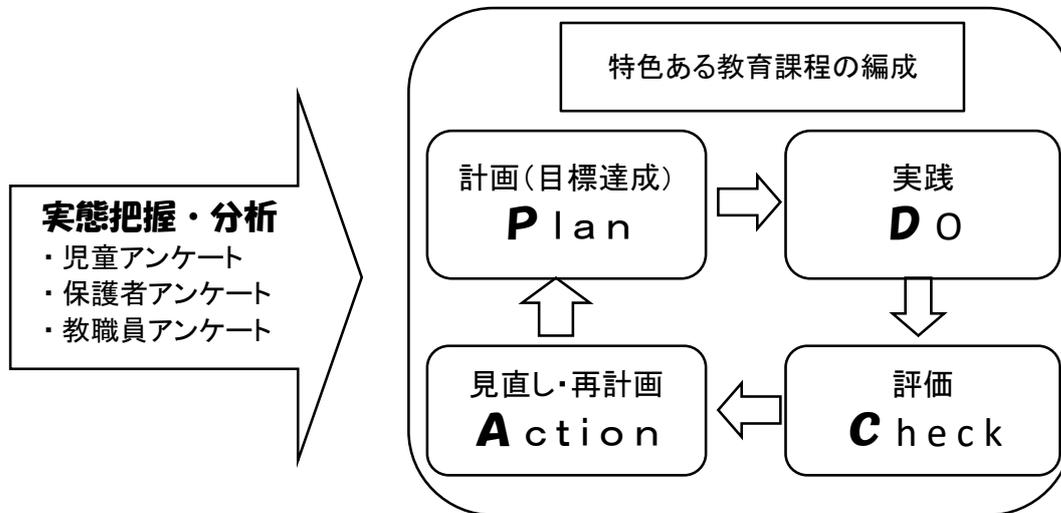
学校だより 特別号

## <令和6年度学校評価の結果>

### ◎ 学校評価の目的

教職員、保護者、児童に広くアンケートを行い、達成状況や、教育活動を適切に評価し、Plan・Do・Check・Action サイクルを繰り返しながら組織的かつ継続的な改善に努めることを目的としています。

※評価のPlan・Do・Check・Action モデル



○学校評価(児童・保護者・教職員アンケート)の回答数

- ・教職員 37 名
- ・保護者 458 名
- ・児童 512 名

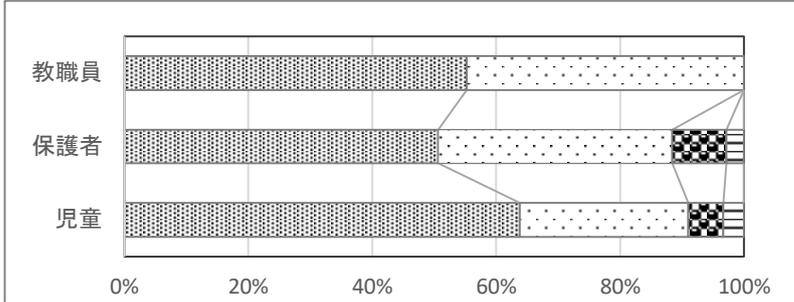
○学校評価(教職員・保護者・児童アンケート)の分析

20の設問について、各設問ごとに、教職員・保護者・児童の順にグラフで並べました。そして、三者の評価を比較しながら、問題ととらえられる部分について、分析・考察しました。

※グラフの凡例

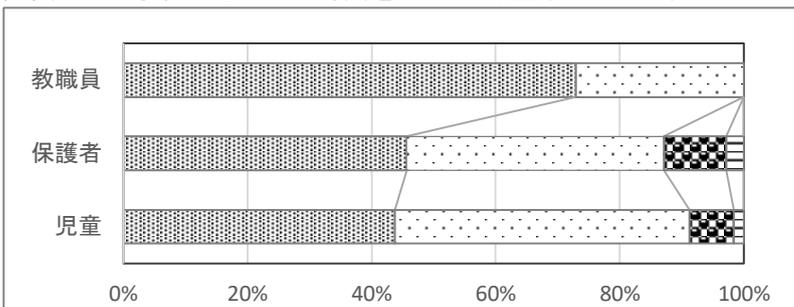
そう思う
 
 やや思う
 
 あまり思わない
 
 そう思わない

設問1 楽しく学校に通っている。



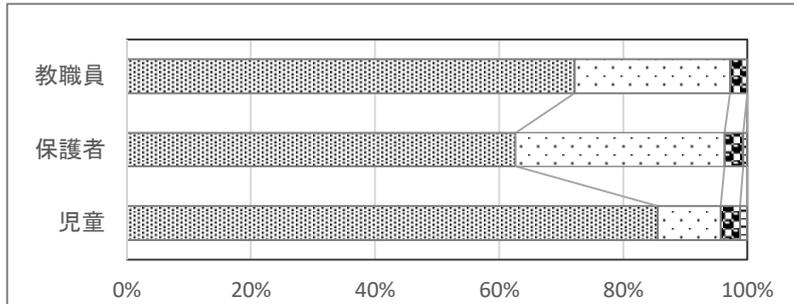
すべての教職員と多くの児童が肯定的な回答をしています。子どもたちは、日々の学習活動の中で、達成感や充実感を味わうことで、自己肯定感を高め、諸活動への取組がより積極的になっていくと考えます。昨年度から取り組んでいるウェルビーイングを高める研究を今後も継続し、学習活動の充実に努めてまいります。

設問2 学校のきまりや時間をまもって、生活している。



すべての教職員と多くの児童が肯定的な回答をしています。児童の意識が高いことは、子どもたちの自律心が大きく育っていることである証であると嬉しく感じます。今後も、学校のきまりや時間をまもって生活することができるよう声かけと支援を続けてまいります。

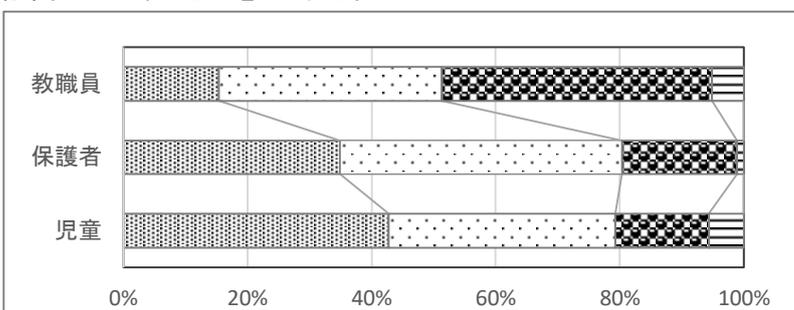
設問3 友だちと仲良く生活している。



教職員、保護者、児童の三者ともに、多くが肯定的な回答をしています。一方で、子どもたちの話を聞いていると、乱暴な言葉遣いをしたり、相手を思いやる言葉遣いができなかったりすることで、友だちとけんかをしてしまうことが度々あるようです。

今後も学校全体で、正しい言葉遣いによる、より良い人間関係づくりが進められるよう、様々な場や機会を通して声かけや支援を進めてまいります。

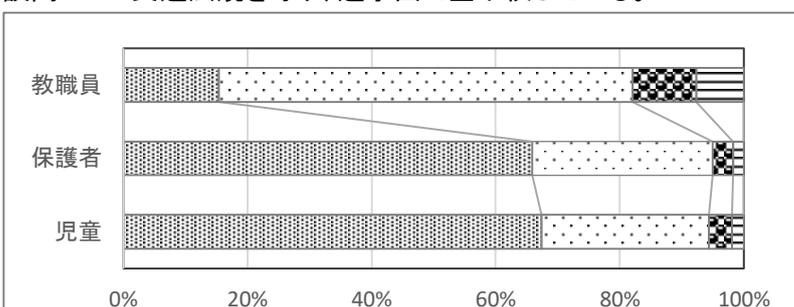
設問4 あいさつをよくする。



あいさつは、設問1から設問3までの項目にも関係するとても大切なものと考えます。お互いにあいさつを気持ちよく交わすことができると、良い人間関係の構築や生活の充実につながっていきます。

教職員が率先してあいさつをすることも、子どもたちの意識向上に大きな効果があると考えます。今後も、あいさつと声かけを続けてまいります。

設問5 交通法規を守り、通学団で登下校している。



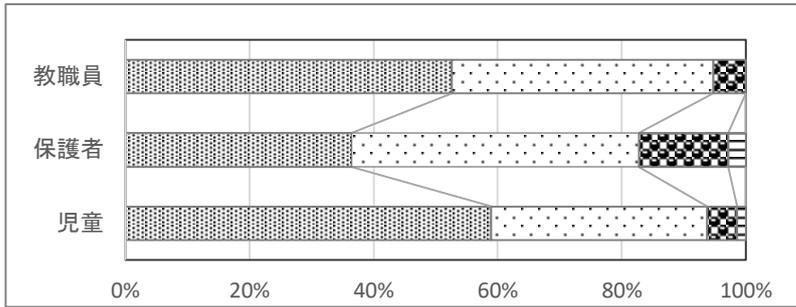
交通法規を守って通学団で登校している意識の高さがうかがえる回答結果となりました。

通学路の中には、見通しの悪い交差点や交通量の多い幹線道路など、危険な箇所があららこちらにあります。保護者にも登下校の見守りにご協力いただきながら、子どもたちが、交通法規をしっかり守り、安全に登下校できるよう、引き続き、登下校の指導を続けてまいります。

※グラフの凡例

そう思う
 
 やや思う
 
 あまり思わない
 
 そう思わない

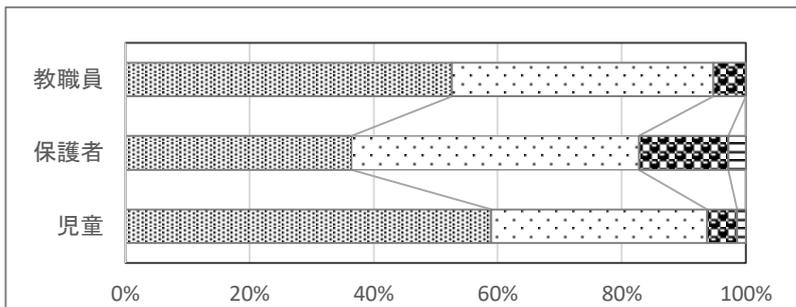
設問6 学校は清掃が行き届き、きれいである。



「自分たちの学校を自分たちの手できれいにしていこう」と意識をして、児童と教職員が日々の清掃活動に取り組んでいます。学校へいらっしやっただお客様から、黙々と清掃活動に取り組む子どもたちの姿に、お褒めの言葉をいただくことも多くあります。

今後も、自分たちの手で、学校の環境を整えていく気持ちを育てていきたいと思ひます。

設問7 学校は安心して過ごせる環境になっている。

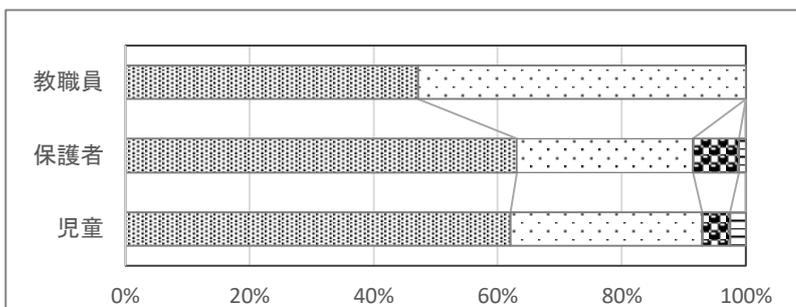


小学校では、日々の生活の中での見守りや生活アンケートなどを通して児童の悩みを早めに把握するように努めています。

今後もいじめの予防、早期発見、早期対応に努めてまいります。

ご家庭で気になることがありましたらお知らせください。

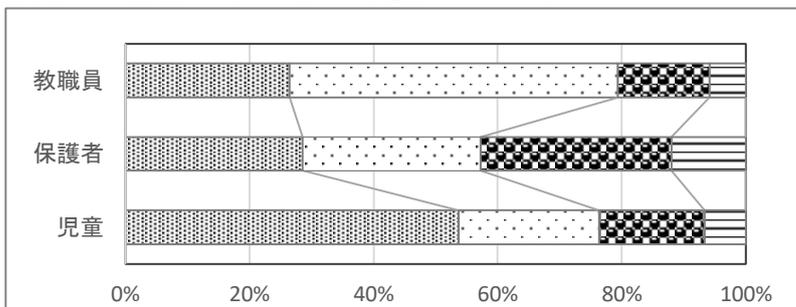
設問8 学校行事は、子どもたちにとって楽しく充実している。



今年度も様々な行事や学習活動を予定通りに実施することができました。多くの児童が、肯定的に回答しており、うれしく思ひます。

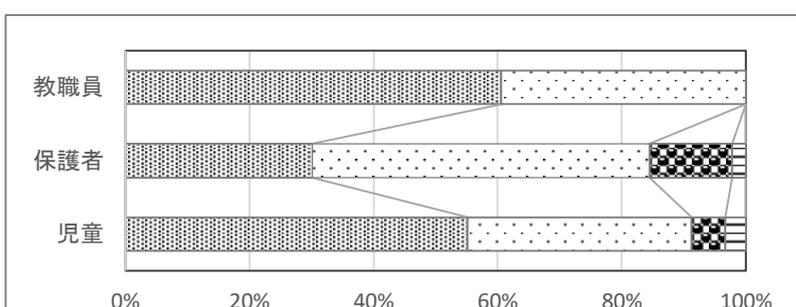
しかし、中には不安や悩みを抱えた児童がいることも事実です。全ての児童が楽しく学校生活を送ることができるよう、教師が温かく親身に支援と指導ができる学校づくりを進めていきます。

設問9 読書が好きで、よく本を読んでいる。



本は子どもの生活空間を大幅に広げ、日常生活の中で出会えない違う時代や場所、様々な体験に触れることができます。その体験は疑似的であっても、実体験同様に子どもの社会性や感情的発達につながるものです。そうしたことから、今後も子どもたちが本に親しめるような様々な場や機会を通して声かけや支援を進めてまいります。

設問10 授業は、楽しく、わかりやすい。



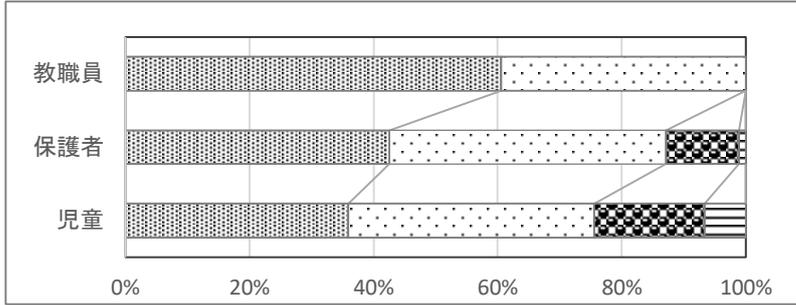
今年度は、「個別最適な学び」「協働的な学び」など、各学年で生徒の実態に根ざした基礎学力向上を目指す取組を工夫して続けてきました。

また教師のスキルアップのため校内研修に積極的に取り組み、教師の授業力向上に努めてきました。今後も、校内研修をさらに充実させ、より分かりやすい授業づくりを進めていきます。

※グラフの凡例

そう思う
  やや思う
  あまり思わない
  そう思わない

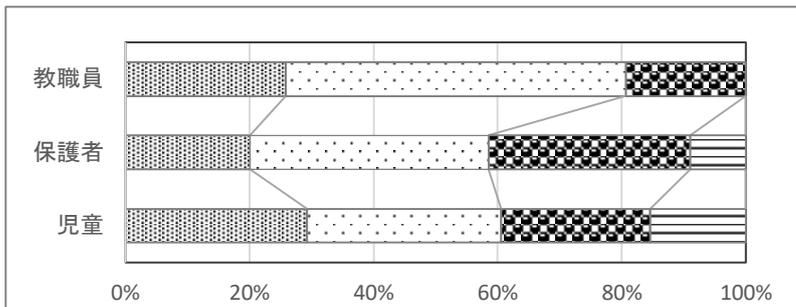
設問11 勉強でわからないところは、わかるまで教えてもらう。



児童の2割ほどが「あまり思わない」「そう思わない」と回答しています。わからないところをそのままにしておく、さらにその先もわからないところが出てきてしまいます。わからないことをそのままにせず、必ずわかるまで先生に教えてもらうことを子どもたちに意識させたいと思います。

また、自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることによって、学習がより深まります。今後も、積極的に発言・発表ができるような授業づくりをさらに進めていきます。

設問12 家庭でも進んで勉強する習慣が身についている。

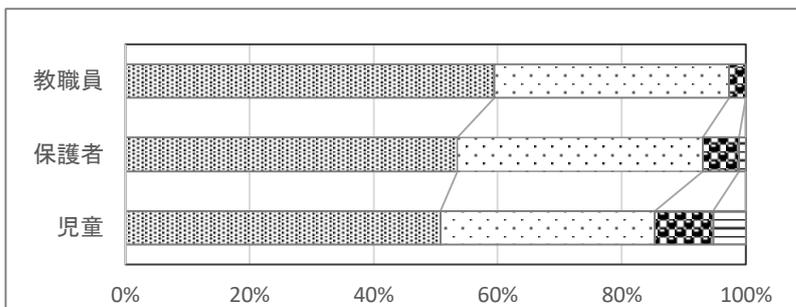


児童と保護者の4割ほどが、「あまり思わない」「そう思わない」と回答しています。

学校で学習した内容を、しっかり理解し、確実に定着させるためにも家庭での学習時間の確保は大切です。学年が進むとともに、家庭での学習時間もより多く必要となってきます。

日々の継続により、家庭での学習習慣が少しずつ身についてきます。子どもたちにも家庭での学習の大切さを伝えていきたいと思います。

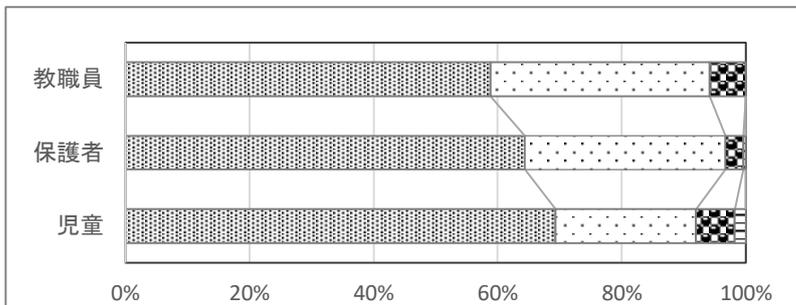
設問13 先生は、よくほめ、はげましてくれる。



今年度は、「あり・あり・なん・やっ」を合言葉に、「ありがとう、ありのままに、なんとかなる、やってみよう」と様々なことに進んで挑戦することに全校で取り組んでいます。新しいことに挑戦するには、大きな勇気が必要ですが、やり遂げた時の達成感により大きなものとなります。その挑戦の原動力となるのが、先生からの激励だと思います。

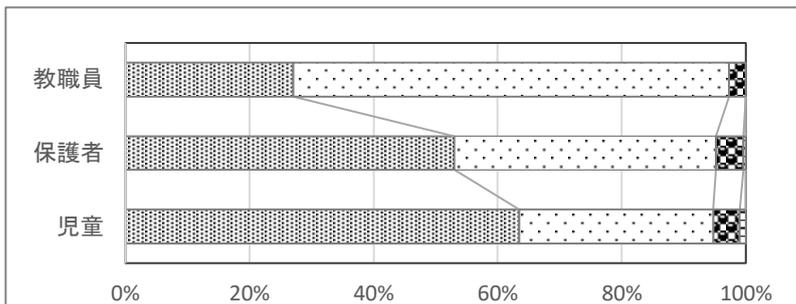
今後も、子どもたちが自信をもって様々なことに挑戦できるよう、児童をよくほめ、励ましていきたいと思っています。

設問14 先生は、けがや病気に対して、適切に対応してくれる。



児童が安心安全な学校生活を送るために、教職員が細かく連絡を取り合い、児童のけがや病気に対応しています。今後も、保健指導や健康管理、環境整備などを丁寧に行い、安心安全な学校づくりを進めてまいります。

設問15 まわりの人を大切に生活を送っている。



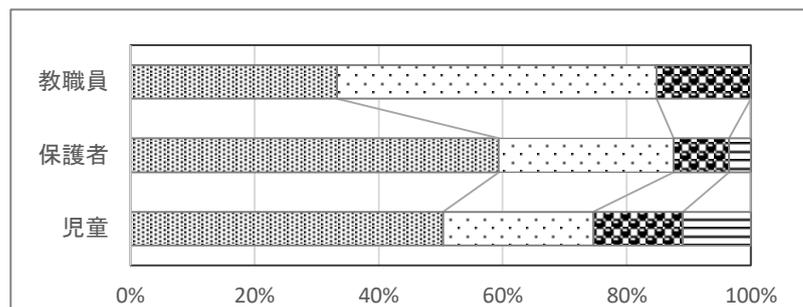
「まわりの人を大切に生活を送っている」と多くの児童が回答しており、相手を気遣った言動を心がけていこうと意識して生活している様子がうかがえます。しかし一方では、相手の気持ちを十分考えずに行動したり、相手を傷つけてしまう言葉を投げかけてしまったりすることも、たびたび見られました。

今後もお互いを尊重し、気持ちよく学校生活を送れるよう、指導を進めてまいります。

※グラフの凡例

とても思う
  
 
 やや思う
  
 
 あまり思わない
  
 
 そう思わない

設問16 いじめにあって悩むことはなかった。

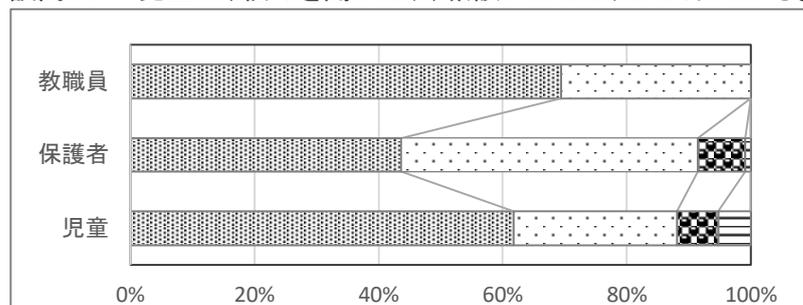


教師や保護者、児童の回答から、いじめにあって悩む児童が、一定数見られます。

教職員は、日々の生活の様子や生活アンケートなどを通して児童の変化に気付けるように努めており、また児童の悩みにしっかり耳を傾け、解決に向け親身に考え、支援していけるよう心がけています。引き続き丁寧な支援と指導を心がけてまいります。

また、スクールカウンセラーとも連携し、相談しやすい環境づくりを進めていきます。

設問17 先生は、悩みを聞いたり、相談にのったりしてくれている。

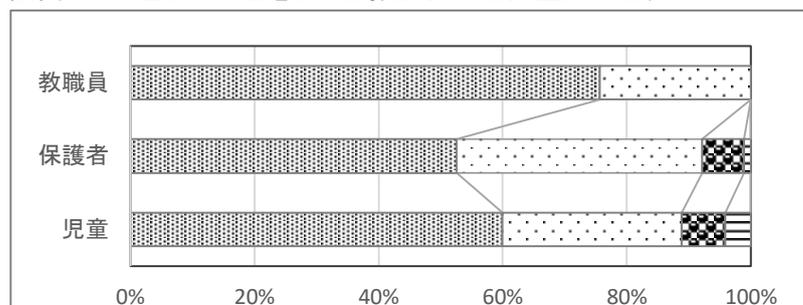


悩みや不安を相談できずにいる児童が、3割ほど見られます。

児童の悩みにしっかり耳を傾け、解決に向け親身に考え、支援していけるよう、教職員一同、心がけていきたいと思ひます。

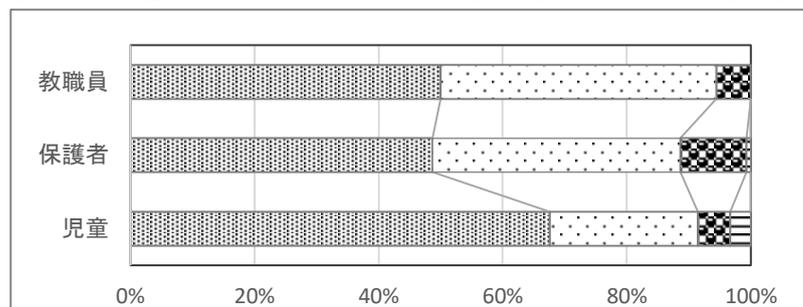
また、スクールカウンセラーとも連携し、相談しやすい環境づくりを進めてまいります。

設問18 自分のことをよく理解してくれる先生がいる。



教職員の意識が高い一方で、不安を感じている児童も見られます。教職員は、子どもたちに細かく声かけを行い児童把握に努めております。しかし、自分の思いを先生に上手く伝えられない児童もいることを念頭に置き、子どもたちにとって、「相談しやすい先生」「話を聞いてくれる先生」となるよう、教職員一同、心がけていきたいと思ひます。

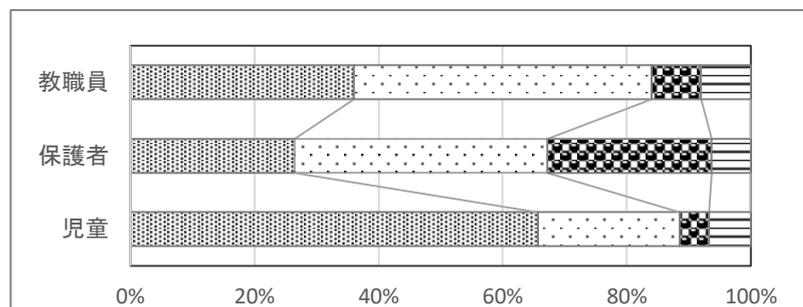
設問19 連絡アプリ・たより・ホームページなどで学校の様子はのおおむね分かる。



学校からは、行事案内や学校・学年通信など多くの文書を配布しています。また、連絡アプリやホームページを利用して、学校の様子や重要なお知らせを配信しております。

今後も、連絡アプリの有効活用や見やすいホームページの工夫・改善などを進め、さらなる情報提供の充実に努めてまいります。

設問20 携帯電話(スマートフォン)の使い方(時間・内容等)は適切である。(持っていない場合は答える必要はありません)



今年度は、様々な学年で、SNSによるトラブルが見られました。その都度、SNSの正しい使い方を指導しています。

今年度は、外部の専門家を招いてSNSに関するお話をさせていただく機会を設けたり、定期的にSNSの正しい使い方について確認する場や機会をつくったりしました。今後も引き続き、児童の意識向上をさらに進めていきたいと考えています。

※寄せられた貴重なご意見は、全職員が目を通させていただき、改善できることから取り組んでまいります。ここでは、複数出されたものについて記述させていただきました。

### 【 学習面 】

- 日々の授業について
- 話し合いやお互いの意見を発表する授業が多くなったという声が、児童からも保護者からも多く見られました。教師も日々の学習活動を充実させていこうと試行錯誤しながら授業改善に向け取り組んでいます。また、教師の授業力向上を図るため、授業研究の機会を設け、教師が互いの授業を見合い、改善策を協議する取組を行っています。今後もこうした教師の研修の機会を増やし、教師の授業力向上に努めていきます。

### 【 生活面 】

- ゲームやスマートフォンの扱い方、SNSでのトラブルについて
- 家庭でゲームやスマートフォンを操作している時間が非常に長いことに不安を感じている声が多く見られました。また、SNSにおける友だちとのトラブルも様々な学年において、数件発生し、学校でも指導をしました。今後も、携帯安全教室を開催したり、学年や学級でくりかえし適正な利用を呼びかけたりしていきます。ご家庭でもゲームやスマートフォンの適切な利用についてお声がけをお願いします。

### 【 環境面 】

- 校内環境について
- 校内の清掃が行き届き、きれいな環境が整っているとの声を多くいただきました。小学校では、毎月安全点検を行い、環境整備に努めています。今後も、日常の環境整備と入念な設備点検を、全職員が目でしっかりと行い、安心して過ごせる環境整備に努めていきます。

貴重なご意見をありがとうございました。  
今回いただきましたご意見を参考に、来年度の学校経営を進めて参ります。

アンケートへのご協力 ありがとうございました。